

【奥多摩・廃線跡を巡る（小河内線）写真集】

特記以外の写真は2018年8~9月撮影、※印 東京都水道歴史館提供



昭和27年11月小河内線竣功時配布、「建設要覧」鳥瞰図及び小河内ダムと小河内線の概要が説明されている。※



昭和32年6月氷川駅（昭和47年奥多摩駅に改称）※



奥多摩駅 平成30年9月



昭和60年 奥多摩駅空中写真



周慶院墓地の上から奥多摩駅を



SL走る第一氷川橋梁（最長200.12m）※



現在は樹木に隠れ僅かに望める第一氷川橋梁



小河内線 最大の見所 日原川橋梁
 緩やかなカーブの全長 100.1mのコンクリートアーチ橋
 奥には最長 200.12mの第一氷川橋梁と奥多摩工業とが
 見られる。✳



2018年（平成30年）8月



日原川橋梁 氷川駅側

第二氷川トンネル水根側口
 トンネルは一時キノコ栽培として
 利用、現在は廃墟で立入できない





奥多摩むかし道入口 案内板(奥多摩駅より徒歩約5分)
案内図が奥多摩駅前の観光案内所やビジターセンターで
入手可能。



第二氷川橋梁 脇に元の巢の森のスギ

第三氷川トンネル 扁額
施工 熊谷組



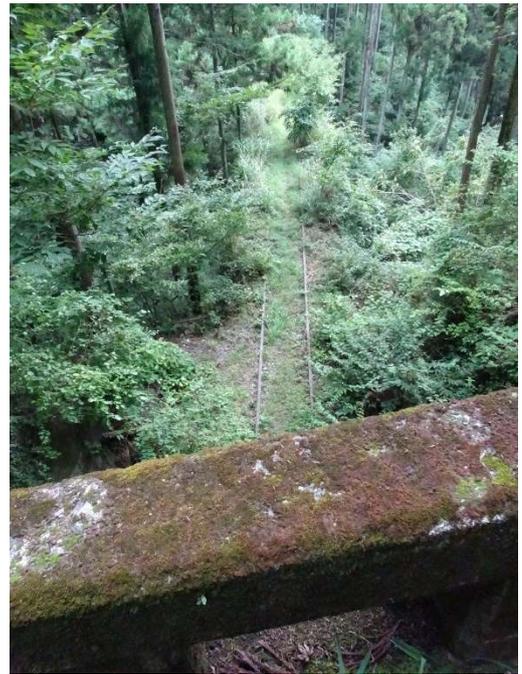
第三氷川トンネル 氷川側
立入禁止のロープと表示



第三氷川トンネル 水根駅側
奥多摩むかし道と交差点地点氷川駅より



奥多摩むかし道と交差すぐ脇、水根駅側の第一弁天橋梁
廃線跡を見下ろしながら石畳のむかし道を進める。



むかし道第四氷川トンネル上から第三氷川橋梁を



奥多摩むかし道を進めば、次々見上げられる橋梁 第一小留浦橋梁及び第二小留浦橋梁



境集落にて高い位置に巨大なガーター橋の第四境橋梁
部品の破損も見られ、崩壊の懸念も



白髭橋梁 奥多摩むかし道、青梅街道（梅久保バス停近く）から見上げられる巨大なコンクリート橋



桃ヶ澤バス停から望める第一桃ヶ澤トンネルと桃ヶ澤橋梁



第二桃ヶ澤トンネル 中山バス停から登れば、
中山トンネルと第二桃ヶ澤隧道の間に



最長 467.3mの中山トンネル内部から水根側を望む
トンネルは一時期奥多摩むかし道に組込まれていた

中山トンネル 氷川側





青梅街道象沿い小河内ダム間近の第一水根橋梁
小河内ダム設備も見え、滝のり沢バス停より橋梁に上がれる



水根駅側最後の短い水根トンネル
施工 間組



青梅街道を跨ぐ第二水根橋梁と水根トンネル



第二水根橋梁

昭和32年5月10日資材輸送完了
昭和38年9月21日西武鉄道に譲渡
昭和38年12月29日休止状態で塗装
昭和53年3月31日奥多摩工業へ譲渡



沢地を埋め立てて設置された水根駅 線路3線配置※



水根駅跡 現在すべて撤去された空き地
水根バス停近く

小河内ダム (奥多摩湖)
展望塔などに建設時の鉄道状況など紹介



ダムカードとドラム缶橋もあるダムカレー
奥多摩湖畔「水と緑のふれあい館」にて